

議会報告会 会場報告書

担当班： 3班 班代表者： 栗山泰三

概要			
地区名 : 日置地区	【出席議員】 栗山泰三 渡辺拓道 隅田雅春 木戸貞一 堀毛隆宏 前田えり子	(1) 開会あいさつ : 栗山泰三	挨拶・総括 : 栗山泰三
日時 : 平成26年11月27日 (木) 19:30~21:16		(2) 議会報告 : 隅田雅春	司会進行 : 渡辺拓道
場所 : 城東公民館		(3) 質疑応答 : 下記参照	報告 : 隅田雅春
参加人数 : 36人(男35人・女1人)		(4) 意見・提言等 : 下記参照	受付 : 堀毛隆宏
		(5) 閉会あいさつ : 木戸貞一	記録 : 前田えり子
			会場 (マイク) : 木戸貞一

【主な質疑】

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 働く場がなければ、定住促進は進まない。市は企業誘致に取り組んでいるが、現在の状況はどうなっているか。子どもたちが篠山に住み続けられるように企業誘致にも積極的に取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所内に「企業振興課」を設けて企業誘致に取り組んでいます。市長も約500社の企業を訪問していますが、誘致までは難しいのが現状です。しかし、空き工場の活用や既存の工場の増築申請は出ており、一定の成果といえます。市内には3ヶ所の農工団地がありますが、篠山中央地区への誘致を最優先に取り組んでいます。関心の高い事項であり、議会としてもしっかりと注視していきます。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害危険度予測システムについて、市民に情報が流れてこなければ意味がない、十分な検討をお願いしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県が導入を進めているリアルタイム型のハザードマップと呼ばれるものです。執行者に意見があったことを伝えます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 飛曾山峠の改修や城東トンネルの新規掘削を県や県議、市長に要望している。京都縦貫道や高速道路の整備に伴い、交通量の増加が予測される。防災面や定住促進、交流面からも重要なインフラ整備であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 日置地区における各戸への情報伝達手段は、有線放送が9自治会で、拡声器による周知が2自治会で、FAXによる周知が1自治会であり、残りは個別訪問で伝達している。有線放送についても、今後は補修が必要になるが費用面が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 市においても検討していると認識しています。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 人口減少が進んでいるのが現実である。本年度から高校の学区が変更され、それに伴う人口の流出も危惧される。人口流出に歯止めをかけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進・少子化対策特別委員会においても、調査だけでなく市に対してもしっかりと提言していきたいと考えています。また、執行者にも意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 災害時に地域がどう活動するか。いかに情報を入手し、伝達していくかが課題である。自治会内における情報伝達手段の整備が重要であると思うが、市でも検討をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会内での情報伝達は、機器だけでなく地域力が発揮されることが大事です。市においても、支援の仕組みを検討しているところです。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 毎年大雨の度に家の裏側から水が浸入して避難される方がいる。大きな水路を設置すれば改善されるが、何か支援策を考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元議員が現地を確認させていただきました。執行者に意見があったことを伝えます。